

自分の命は自分で守る

問 防災安全課防災係

☎ 72・2111

日頃からの備え

●ハザードマップの確認

住んでいる場所の災害リスクをハザードマップで確認し、危険な場所や最寄りの避難所、安全な避難経路を確認しておきましょう。

●豪雨時に当初開設する避難所

- ・三国校区コミュニティセンター
- ・東野校区コミュニティセンター
- ・大原校区コミュニティセンター
- ・小郡校区コミュニティセンター
- ・大崎市民館
- ・下岩田市民館
- ・立石小学校
- ・味坂小学校
- ・宝城中学校

※災害場所やレベルによって、開設する避難所を変更する場合があります。避難所情報は、災害時に市ホームページやSNSでお知らせします

避難所に行くことだけが避難ではありません

安全な地域の親戚・知人宅やホテルへの避難も検討し、災害時などのように行動するか決めておきましょう。

●連絡手段の確認

災害が発生したとき、家族が近くにいるとは限りません。また災害時は電話がつながりにくくなり、連絡が取れない場合があります。家族の集合場所を事前に決めておき、災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板など、複数の連絡手段を確認しておきましょう。

●非常用持出品・備蓄品の確認

非常用持出品は、避難時に最初に持ち出す必要最低限の備えです。いつでもすぐに持ち出せるようにリュックに収納し、玄関先などに置いておきましょう。また、電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、

普段から飲料水や保存の効く食料などを家庭で備蓄しておきましょう。

●非常用持出品(人数分)

飲料水、食料品、貴重品、救急医療品、避難時の服装(ヘルメット・軍手・運動靴・レインコート)、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器、感染症予防グッズ(マスク・消毒液・体温計)、熱中症対策グッズ(塩タブレット・保冷剤)など

※乳児のいる家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう

●家庭内備蓄

飲料水3日分(1人1日3リットルが目安)、非常食(3日分)、トイレレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ランタン、カセットコンロなど



毎年、全国各地で豪雨災害が発生しており、小郡市でも平成30年から毎年のように浸水などの被害が発生しています。

自然災害の発生を防ぐことはできませんが、日頃から災害に備えることで被害を軽減できます。「自分の命は自分で守る」という心構えで日頃から準備をしましょう。

災害情報の集め方

●防災行政無線

市内60か所に設置しているスピーカーで、災害情報などをお知らせします。

防災行政無線の放送が聞こえなかった場合、電話の自動応答システムとホームページで放送内容を確認することができます。
※24時間以内に配信した情報のみ

電話による
自動応答システム
☎050-5212-5256



情報配信ホームページ

●緊急速報メール(エリアメール)
緊急性が高い災害情報をいち早く提供するため、緊急速報メール(エリアメール)を一斉送信します。

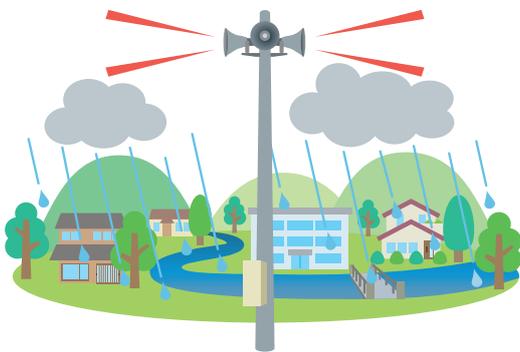
●防災メールまもるくん

気象情報や避難情報のほか、震度5弱以上の地震発生情報などを事前登録したメールに配信します。



●Yahoo! JAPAN

防災速報アプリ
アプリを通じて、ヤフーや小郡市から緊急情報を配信します。



避難情報

令和3年5月に避難情報の名称が変更されています。避難情報の内容を理解し、災害時には迅速な行動がとれるようにしましょう。

	警戒レベル	避難情報	
市町村発令	5	緊急安全確保	いのちの危険！直ちに安全確保
	〈警戒レベル4までに必ず避難！〉		
	4	避難指示	危険な場所から全員避難
	3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者は避難
気象庁発表	2	大雨・洪水・高潮注意報	避難行動の確認
	1	早期注意情報	心構えを高める

大雨時の下水道への排水抑制のお願い

問 下水道課工務係 ☎72-2111

大雨時は雨水の流れ込みにより、下水が逆流しトイレや浴室の排水口などから水が噴き出ることがあります。下水が逆流しないよう、洗濯や風呂などの大量の水は、雨が収まってしばらくしてから排水を行うようご協力をお願いします。

“水のう”で下水の逆流対策

「ゴポゴポ」と異常な音が聞こえてきたら危険信号。水のうを設置すると水が噴き出のを抑えることができます。

●水のうの作り方

大きめ(45リットル程度)のビニール袋を二重に重ね、半分程度(20リットル程度)の水を入れます。中の空気を抜きながら、口をしっかりと縛ったら水のうの完成です。

